

五反田川放水路の必要性

五反田川下流の二ヶ領本川は、高度に都市化された地域を貫流しています。

特に、河道上空を主要地方道が専有している稲生跨線橋部や沿川に家屋が集中している区間については、河道拡幅や掘削による河道改修が困難な状況となっています。

このようなことから、平瀬川水系全体計画では、水系全体の抜本的治水対策として、平瀬川と二ヶ領本川の計画高水流量の負担を軽減させるために五反田川の洪水を直接多摩川に放流する五反田川放水路計画が立案されました。



五反田川放水路の概要

五反田川放水路は、洪水時には五反田川の洪水全量($150\text{m}^3/\text{s}$)を延長2,025mの地下トンネルに流入させ直接多摩川へ放流させようとするものです。

本放水路は、五反田川と多摩川の水位差を利用

して洪水を流下させる自然流下圧力管方式の地下河川です。

計画、設計にあたっては、五反田川放水路技術検討委員会において多くの学識経験者の指導を受けて行っております。

多摩川放流部完成予想図

放水路の規模	
延長	2,025m
断面	直径 8.70m
流量	$Q=150\text{m}^3/\text{s}$
深さ	38m～47m



水理模型実験 縮尺1/100 (分流部より)